

建設通信新聞

公共事業の品質 確保と向上へ貢献

日測協東北支部が報告会

日本測量協会東北支部(渥美雅裕支部長)は、仙台市の仙台サンプラザで2026年度支部業務報告会を開いた。今年度は会員数の維持拡大に向け本部と密に連携を図りながら、測量専門技術者の育成や測量機器・成果検定などに取り組む。

渥美支部長は「測量技術を継承しつつ、デジタルデータの活用など新技術の導入を積極的に推進し、測量の重要性和魅力を高め発信していくことが大切だ。支部の役割と使命を果たし、公共事業の品質確保と向上に貢献していき



い」と話した＝写真。

議事では、25年度事業や会員動向を報告したほか、参加者へのアンケートを踏まえ2件を追加した計28件の支部講習会の開催などを盛り込んだ26年度事業計画を決めた。

報告会後は、26年度公共測量成果検定(基準点測量、地図作成)で「公共測量品質管理優秀賞」を受賞した東北地区の4社を表彰した。

受賞者は、基準点測量が創研コンサルタント、工藤測量

設計、地図作成は国際航業事業統括本部東北技術部、エアロトヨタ東日本空情支社郡山支店。